

災害復興

理容師ができること

茨城県鬼怒川氾濫による浸水被害に
衛生業種として、理容師として
地元の理容組合水海道支部が立ち上がった。

2015年9月茨城県での鬼怒川氾濫により被害を受けた理容店復興のため、理容師としての衛生管理術を活かし、日本衛生管理協会副理事の高橋信之をはじめとする理容組合水海道支部の皆様が立ち上がりました。その活動は 水害の時のボランティアでホームページに掲載され、消毒法が市民～特に小さいお子さんを持つお母さんに支持されて感謝されたと市議会議員と参議院議員の方々からも感謝の意をいただきました。日本衛生管理協会として、その際の復興における知識を災害復興への手掛かりとして共有したいと思います。







震災や水害などで引き起こされる土砂災害からの衛生的復旧方法を、法定消毒業である理容の立場から考えて見たいと思います。そこから一般家庭における災害被害時の洗浄消毒方法も導かれると思いますので、参考にしてください。

一般社団法人 日本衛生管理協会